

島村圓鉄

名人彫物師

特別展

その末裔たち

観明寺旧本堂欄間彫刻「波に咩形龍図」(島村圓鉄)

【開催趣旨】

江戸時代が始まって100年ほどたった元禄から享保年間、名人といわれた彫物師がいた。その名は島村圓鉄といい、各地の寺社の造営にかかわり、門下からは多くの彫物師を輩出した。このたびの特別展では、圓鉄以来の彫物師の貴重な作品を紹介する。



脇障子「牡丹に獅子・阿」(島村俊實)



欄間彫刻「鯉」(初代伊八)

2017年 **10月14日** 土 → 2018年 **2月18日** 日

【休館日】 月曜日

年末年始(12月28日～1月4日)

【会場】 睦沢町立歴史民俗資料館
千葉県長生郡睦沢町上之郷1654-1
TEL0475-44-0290

【開館時間】 9時～16時30分

【入館料】 無料

【ギャラリートーク】 12月9日 午後1時30分から担当学芸員の展示解説。

【記念講演会】 12月17日 午後1時30分から鴨川市郷土資料館石川丈夫氏による講演会。

期間中の資料館企画
10月28日 土 第22回文化財保護ボランティア「妙楽寺」
11月 3日 金～5日 日 第18回指定文化財写真パネル展
1月20日 土 第22回民俗学講座
1月21日 日 第21回房総の郷土芸能鑑賞
2月18日 日 第22回考古学講座

次回展示予告 第15回館蔵名品企画展
「房総の出羽三山信仰」 3月10日 土～6月3日 日



Mutsuzawa Museum of History & Folklore 睦沢町立歴史民俗資料館

〒299-4413 千葉県長生郡睦沢町上之郷1654-1 TEL 0475-44-0290 FAX 0475-44-0213 <http://www.town.mutsuzawa.chiba.jp> e-mail: siryou@town.mutsuzawa.chiba.jp

交通案内 ◆JR外房線茂原駅南口から小湊バス「道の駅ついで」の郷
むつざわ」行で28分睦沢中央公民館下車徒歩0分
◆JR外房線土橋一宮駅から小湊バス大多喜行で15分
「睦沢公民館入口」下車徒歩5分 いずれもバスは平日のみ
◆県道茂原長南ICから20分 ◆東関東自動車道・外房有料道路経由
茂原より広域農道で15分(駐車場80台有)
(バスの本数が少ないため、車での利用をおすすめします。)

beyond
2020

特別展

名人彫物師 島村圓鉄とその末裔たち

ごあいさつ 江戸時代はじめ日光東照宮ができたころから、関東地方でも神社仏閣に装飾彫刻が付き始めました。時代が降ごとに龍・猿・獅子などの聖獣や牡丹・蓮などの彫刻が増えて、島村圓鉄が活躍した江戸時代中ごろには絢爛豪華な寺社建造物が関東各地に建てられました。明治以後、寺社建造物の装飾彫刻は、屋台彫刻などにも引き継がれ、現在でも装飾彫刻を手がける家が残っています。このたびの特別展では、江戸時代からの粋を伝える装飾彫刻の美をご覧いただきたいと思います。

おもな展示物の紹介



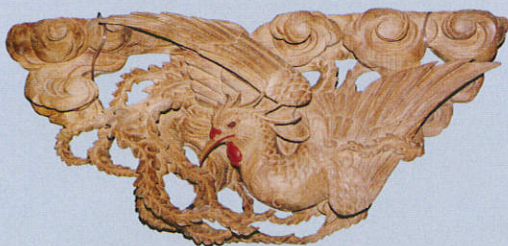
観明寺旧本堂欄間彫刻「波に呼形龍図」(島村圓鉄)

この彫刻は、島村圓鉄の作であることが判っている栃木県真岡市にある栃木県指定文化財大前神社本殿の彫刻、茨城県桜川市にある茨城県指定文化財雨引観音本堂の向拝彫刻「波に龍図」、睦沢町下之郷にある光福寺本堂欄間彫刻「波に龍図」と酷似していることなどにより、島村圓鉄の作と判断された。観明寺の旧本堂は享保3(1718)年に建築されたというので、この彫刻は島村圓鉄が亡くなる享保5(1720)年の2年前の作である。



脇障子「牡丹に獅子・阿」(島村俊實)

脇障子は社殿側面の後部に立てた仕切りで、「牡丹に獅子」はよく知られたモチーフである。裏面に「武州江戸」「彫物師」「嶋村唐四郎作」「奉寄進」「山田氏庄右衛門」「宝暦二年六月廿八日」と墨書銘がある。島村唐四郎俊實は、彫物師島村家二代目の圓鉄が享保5(1720)年に亡くなった後、三代目を継いだ。享保11(1726)年までには三代目になっていたと推定されている。島村俊實は宝暦7(1757)年に死去した。



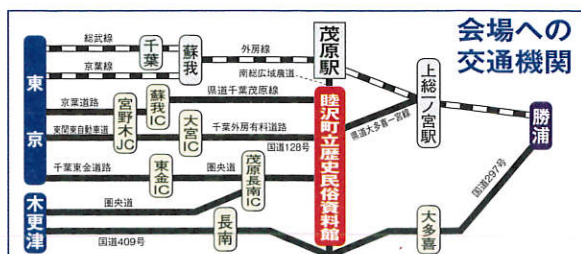
大上上講中屋台彫刻「雲に鳳凰図」(押田信一)

大上上講中屋台は大正時代頃に地元瑞沢村(現在の睦沢町)の大工によって作られ、昭和10年頃までは祭礼で毎年組み立てられ囃子が上演されていた。屋台の彫刻は押田信一の作である。押田信一は四代目伊八こと武志伊八郎信明の弟子で、展示の「雲に鳳凰図」は師匠の四代目伊八や押田信一の兄弟弟子の五代目伊八こと伊八郎信月の作風によく似ている。



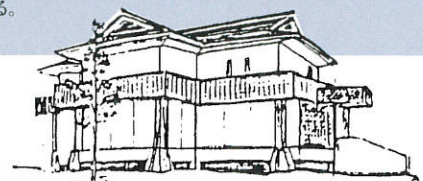
欄間彫刻「鯉」(初代伊八)

刻銘は「武志伊八郎 信由作」とあるので、初代伊八の作である。初代「波の伊八」こと武志伊八郎信由は、島村圓鉄から彫物師島村家の三代目を継いだ島村俊實の弟子である島村貞亮(市東半兵衛)の弟子である。彫工世系図に「名人」と記されている彫物師は何人もいないが、初代伊八は島村圓鉄らとともに「名人」と評されている。展示の欄間彫刻「鯉」はリアルで、躍動的である。



交通案内 ●JR外房線茂原駅南口から小湊バス「道の駅つづの郷むつざわ」行で28分
睦沢中央公民館下車徒歩0分
●JR外房線土総ノ宮駅から小湊バス大多喜行で15分「睦沢公民館入口」下車徒歩5分
●圏央道茂原長南ICから20分
●東関東自動車道・外房有料道路経由 茂原より広域農道で15分(駐車場80台有)

バス時刻表	
茂原駅南口	
睦沢中央公民館 土・日・祝 運休	
無印: 中の島経由	
▲印: 早野新田経由	
■印: 日立正門経由	
6:32 ▲	14:00
8:05 ■	15:30
9:25	17:18
11:15	18:30
12:36	20:15



睦沢町立歴史民俗資料館

Mutsuzawa Museum of History & Folklore

〒299-4413 千葉県長生郡睦沢町上之郷1654-1

TEL 0475-44-0290 FAX 0475-44-0213

<http://www.town.mutsuzawa.chiba.jp>

e-mail: siryou@town.mutsuzawa.chiba.jp